

「パプアニューギニアの原生林は今・・・」

～押し寄せる伐採企業の圧力に、村人たちは、いかに抵抗しているか～

外材に8割がた依存し続ける日本の家づくり、世界中のエネルギー、資源無しには私達の生活はありません。貴重な熱帯材の多くは伐りつくされ、新たな伐採先は北米、カナダ、シベリア等に移行し、このまま続くと豊かな森や、大地が数十年で失われようとしています。パプアニューギニアでは最後の楽園と言われる場所からも、原生林が一分に一本の割合で伐られ、日本でも多くが使用されています。これらは強引な人権や環境を無視した伐採や、パプアに限らず違法伐採等によっても、貴重な原生林が失われようとしており、さらには、伐採後広大な場所が焼畑され、そこにユーカリ植林・パームオイル等のプランテーションと化し、廻りの生態系や地域、住民、環境にとっても大きな悪影響も与えております。熱帯材やユーカリ植林による紙パルプ、パーム油による食品、菓子等大量に使用する私達にとっては無くてはならない資源ですが、それらが南の国の人達や環境にどんな影響を与えているのか等、北の国（先進国）にとって都合の悪い情報はなかなか正確には私達に伝わって来ません。このたび、パプアニューギニアとソロモン諸島の森を守る会のメンバーによる、現地の報告と、植林という美名のもとに行われるプランテーションや、資源を持たない北の国が豊かになり、資源を持つ南の国が貧しくなる、こんな仕組みを皆様と一緒に考えてみたいと思います。ぜひ御参加下さい。

講師・・・**パプアニューギニアとソロモン諸島の森を守る会メンバー**

日時・・・**5月21日（土）午後2時～5時**

場所・・・**中野サンフラザ 9階研修室**
中野駅北口徒歩2分（03-3388-1174）

参加費・・・**1,000円**

人数・・・**100名（先着順）**

※事前にお申込み下さい



主催 **株河合工務店**

中野区中野1-41-20 TEL：**03-3362-6492**/FAX：03-3363-3704

協賛 **辻垣建築設計事務所** TEL：03-3492-4245/FAX：03-3493-6417
パプアニューギニアとソロモン諸島の森を守る会